

### 3. 議会の運営

#### (1) 定例会及び臨時会

定例会は、条例で年4回と規定されており、おおむね2月、6月、9月及び11月に開かれている。なお、臨時会は必要の都度開かれる。

平成27年以降の会期及び議案数等は、次のとおりである。

年	区 分	期 間	会 期			議 案 数			質 問 者 数		
			計	開会	休会	計	知事	議員	一般	緊急	質疑
28	285回定例会	2.24～3.23	29	9	20	99	96	3	19	-	10
	286回定例会	6.1～6.16	16	6	10	42	40	2	12	-	6
	287回定例会	9.21～10.11	21	7	14	52	46	6	16	-	5
	288回定例会	11.24～12.9	16	6	10	38	32	6	12	-	6
29	289回定例会	2.22～3.22	29	9	20	93	89	4	17	-	10
	290回定例会	6.15～6.30	16	6	10	49	47	2	12	-	5
	291回定例会	9.21～10.10	20	7	13	79	76	3	16	-	5
	292回定例会	11.22～12.8	17	6	11	61	59	2	12	-	6
30	293回定例会	2.23～3.23	29	9	20	140	135	5	17	-	11
	294回定例会	6.14～6.29	16	6	10	52	51	1	12	-	6
	295回定例会	9.21～10.11	21	7	14	59	57	2	16	-	5
	296回定例会	11.21～12.7	17	6	11	50	43	7	12	-	6
31 (元)	297回定例会	2.21～3.15	23	8	15	138	133	5	13	-	10
	94回臨時会	5.13～5.15	3	3	0	22	22	0	-	-	2
	298回定例会	6.13～6.28	16	6	10	42	40	2	12	-	6
	299回定例会	9.18～10.7	20	7	13	52	52	0	16	-	6
	300回定例会	11.22～12.9	18	6	12	60	57	3	12	-	6
2	301回定例会	2.25～3.24	29	11	18	109	104	5	17	-	18
	95回臨時会	5.12～5.15	4	2	2	11	10	1	-	-	7
	302回定例会	6.15～6.30	16	6	10	41	38	3	12	-	6
	303回定例会	9.18～10.8	21	7	14	56	53	3	16	-	7
	304回定例会	11.24～12.9	16	6	10	35	32	3	12	-	8
3	305回定例会	2.22～3.22	29	9	20	82	81	1	17	-	13
	306回定例会	6.14～6.29	16	6	10	49	45	4	12	-	7
	307回定例会	9.17～10.7	21	7	14	53	46	7	16	-	6
	308回定例会	11.24～12.9	16	6	10	31	26	5	12	-	8

年	区 分	期 間	会 期			議 案 数			質 問 者 数		
			計	開会	休会	計	知事	議員	一般	緊急	質疑
4	309回定例会	2.22～3.23	30	9	21	104	100	4	17	-	12
	310回定例会	6.2～6.17	16	6	10	50	46	4	12	-	6
	311回定例会	9.21～10.11	21	7	14	60	57	3	16	-	6
	312回定例会	11.24～12.9	16	7	9	32	30	2	12	-	10
5	313回定例会	2.22～3.17	24	8	16	88	82	6	13	-	9
	96回臨時会	5.10～5.12	3	3	0	12	12	0	-	-	5
	314回定例会	7.6～7.24	19	6	13	39	34	5	12	-	6
	315回定例会	9.20～10.6	17	7	10	41	34	7	16	-	6
	316回定例会	11.22～12.8	17	6	11	42	37	5	12	-	6
6	317回定例会	2.22～3.22	30	9	21	103	98	5	19	-	9

## (2) 本 会 議

### ア 会議時間

会議は、議会運営委員会の申合せにより午前10時30分から始めている。

ただし、閉会日の開議時刻については、その都度議会運営委員会で決めることとしており、午後1時に始めることが多い。

### イ 議案の審議

議案は、おおむね次の順序で審議している。

〈議案上程→知事提案理由説明→（一般質問）→質疑→委員会審査→委員長報告→討論→採決〉

### ウ 一般質問及び議案に対する質疑

一般質問と議案に対する質疑とは区別し、それぞれ通告制により行っている。

また、質問時間は、議会運営委員会の申合せにより次のとおりとなっている。

- ・代表的一般質問（2月定例会のみ実施） 50分以内（答弁時間を除く。）
- ・一般質問（毎定例会実施） 30分以内（答弁時間を除く。）
- ・なお、再質問は代表的一般質問及び一般質問ともに15分以内（答弁時間を含む。）で一問一答方式によることを基本とする。
- ・議案に対する質疑 45分以内（答弁時間を含む。）

エ 請願・陳情の審議及び委員会の審査結果

請願及び陳情は、所管の委員会で審査し、他の議案の審査結果とともに、委員長が本会議に報告し、採決している。

オ 採決の方法

通常は、異議の有無を諮る方法及び起立による採決方法により行っている。

ただし、必要に応じて記名投票又は無記名投票により行う場合もある。

(3) 議会運営委員会

議会運営委員会は、円滑な議事運営を図るため地方自治法第109条第1項の規定に基づき設置している。

ア 所管事項

- 1) 議会の運営に関する事項
- 2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 3) 議長の諮問に関する事項

イ 委員の定数、構成及び任期

1) 委員定数 10人

2) 構成

議会運営委員会の申合せにより

① 委員は、所属議員5人以上の会派に、それらの会派所属議員数の比率（ドント方式）により割り当てている。ただし、所属議員5人以上の会派が1会派のときは、その会派に次いで所属議員数の多い会派（2以上の会派が該当する場合は、それらの会派の意見を聴いて議長が定める会派）に1人を割り当てる。

② 委員が選任されていない会派からは、オブザーバー（委員外議員）1人が委員会に出席している。

3) 任期 おおむね2年

4) 正副委員長、委員等は次のとおりである。

(令和5年5月10日選任・互選)

正副委員長	委 員	オブザーバー
委員長	谷 川 政 人	鶴賀谷 貴
夏 堀 浩 一	菊 池 勲	(新政未来)
副委員長	木 明 和 人	川 村 悟
齊 藤 爾	福 士 直 治	(R5.7.6 選任)
	成 田 陽 光	(オール青森)
	大 澤 敏 彦	
	(自民党)	
		吉 俣 洋
		(共産党)
		夏 坂 修
		(公明党)
		後 藤 清 安
		(参政党)

#### (4) 常任委員会

ア 委員会名、定数、所管事項、正副委員長及び委員は、次のとおりである。

(令和6年3月22日選任・令和6年4月4日互選)

委員会名	定数	所管事項	
		委員長名	
総務政策こども	8人	総務部、財務部、総合政策部、こども家庭部、出納局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会、労働委員会及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項	
		委員長 花田 栄介 田中 順造 工藤 慎康 小笠原 大佑	副委員長 菊池 勲 工藤 兼光 吉俣 洋 大平 陽子
環境厚生	8人	環境エネルギー部、健康医療福祉部及び病院局の所管に属する事項	
		委員長 大崎 光明 鹿内 博 櫛引 ユキ子 川村 悟	副委員長 工藤 貴弘 三橋 一三 高橋 修一 鶴賀谷 貴
農林水産	8人	農林水産部、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事項	
		委員長 福士 直治 山田 知 齊藤 爾 北向 由樹	副委員長 井本 貴之 蛭沢 正勝 夏堀 嘉一郎 田端 深雪
経済交通観光	8人	交通・地域社会部、経済産業部及び観光交流推進部の所管に属する事項	
		委員長 小比類 巻正規 森内 之保留 丸井 裕 後藤 清安	副委員長 成田 陽光 伊吹 信一 高畑 紀子 大澤 祥宏
文教公安	8人	国スポ・障スポ局、教育委員会及び公安委員会の所管に属する事項	
		委員長 木明 和人 田名部 定男 清水 悦郎 夏坂 修	副委員長 大澤 敏彦 阿部 広悦 山谷 清文 吉田 ゆかり
建設危機管理	8人	県土整備部、危機管理局及び取用委員会の所管に属する事項	
		委員長 夏堀 浩一 安藤 晴美 寺田 達也 和田 寛司	副委員長 工藤 悠平 今 博 谷川 政人 斉藤 孝昭

イ 選任方法

各会派からの各常任委員会委員候補者に基づき、議会運営委員会において調整し、議長が会議に諮って指名している。

ウ 任期

おおむね4月1日から翌年の3月31日までの1年となっている。

エ 開催状況

- ① 議会開会中は、本会議から付託された議案及び請願・陳情並びに所管事項の審査のため委員会を開催している。(年4回)
- ② 議会閉会中は、継続審査案件及び特定付託案件の審査のため、毎月(定例会開催月を除く。)開催している。(年8回)

オ 県内外調査

県の出先機関及び事業現場等の現地調査(年4回以内)を実施しているほか、他都道府県の現地調査(年1回)を実施している。

(5) 特別委員会

特別委員会は、必要に応じて議会の議決により設置される。

ア 予算特別委員会及び決算特別委員会

当初予算案は2月定例会において設置される予算特別委員会に付託し、審査する。決算議案は9月定例会において設置される決算特別委員会に付託し、審査する。

イ 新幹線・鉄道問題対策特別委員会

現在、「新幹線・鉄道問題対策特別委員会」が設置されており、定数、付託事項、正副委員長及び委員は、次のとおりである。

(令和5年5月11日選任・互選)

特別委員会名	定数	付 託 事 項			
		委 員 名			
新幹線・鉄道問題対策特別委員会	23人	新幹線の早期完成及び県内鉄道の整備促進について			
		(委員長)	(委員)		
		阿部広悦	田中順造	工藤兼光	
		(副委員長)	伊吹信一	山谷清文	
		森内之保留	櫛引ユキ子	夏堀浩一	
			安藤晴美	谷川政人	
			小比類巻正	和田寛司	
			福士直治	鶴賀谷貴弘	
			工藤悠平	工藤貴佑	
			高畑紀子	小笠原大樹	
			大平陽子	北向由樹	
	田端深雪	吉田ゆかり			
	大澤祥宏				

(R5.6.6 選任)

ウ 原子力・エネルギー対策特別委員会

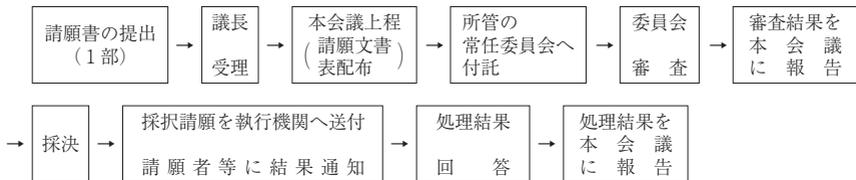
現在、「原子力・エネルギー対策特別委員会」が設置されており、定数、付託事項、正副委員長及び委員は、次のとおりである。

(令和5年5月11日選任・互選)

特別委員会名	定数	付 託 事 項				
		委 員 名				
原子力・エネルギー対策特別委員会	23人	原子燃料サイクル事業の諸課題について				
		(委員長)		(委員)		
		清水悦郎	田名部定男	鹿内博	内田知一	博知一
		(副委員長)	三橋一三	山田修	高橋修	博介人
		齊藤 爾	工藤慎康	高橋修	田栄和	洋彦
		川村悟勝	花田明	花田明	栄和	洋彦
		虻池正勲	菊崎光	木吉侯	敏彦	嘉一郎
		大崎光	成田陽光	大澤敏彦	堀坂修	嘉一郎
		井本貴之	齊藤孝昭	夏夏	堀坂修	嘉一郎
		後藤清安	藤清安	夏夏	堀坂修	嘉一郎

(6) 請願及び陳情

ア 請願の取扱い



イ 陳情の取扱い

陳情の取扱いについては、紹介議員が必要でないこと以外は請願の取扱いと同様である。ただし、その内容によっては、議会の審査の対象としない場合もある。

ウ 請願・陳情処理結果の推移

(請 願)

区分 年次	前 年 よりの 継続分	受 理	審 査 結 果				審 議 了 未	処 理 計
			採 択	不採択	取 下 り げ	継 続 審 査		
平成 29	-	3	3	-	-	-	-	3
30	-	3	2	1	-	-	-	3
31 (元)	-	3	1	2	-	-	-	3
令和 2	-	4	1	3	-	-	-	4
3	-	5	1	4	-	-	-	5
4	-	5	1	4	-	-	-	5
5	-	3	1	2	-	-	-	3

(陳 情)

区分 年次	前 年 よりの 継続分	受 理	審 査 結 果				審 議 了 未	処 理 計
			採 択	不採択	取 下 り げ	継 続 審 査		
平成 29	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-	-	-	-
31 (元)	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 2	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	2	-	2	-	-	-	2

(7) 議員の派遣

地方自治法第100条第13項の規定により、議会は議案の審査等のため必要があると認めるときは、議員を派遣することができることされており、議会の議決等により議員を派遣している。

ア 派遣の種類

(ア) 海外派遣

- ① 海外派遣は、本県の課題又は重要な事務に関する海外諸国の調査について行う。
- ② 海外派遣は、任期中において議員24人以内とする。ただし、任期中において同一の議員は2回派遣しない。

- ③ 旅費の支給額は、「青森県議会議員の議員報酬及び費用弁償の額並びにその支給条例」に基づき算定した額とする。ただし、議員1人の支給額の最高限度額は、80万円とする。

(イ) 国内派遣

- ① 国内派遣は、次の場合に行う。

- a 議案の審査又は本県の重要な事務に関する調査
- b 議会の議決に基づく意見書又は決議書並びに議会運営委員会等で決定した要望書等の提出
- c 議会運営委員会の調査へのオブザーバーの参加
- d 協議又は調整を行うための場として設置した会議等の調査
- e 都道府県議会議員及び北海道・東北六県議会議員の研究交流大会への出席
- f 他の地方公共団体とともに設立した協議会等への出席
- g 議会に出席の依頼がある県、国又は他の地方公共団体等が主催する式典等への出席

- ② 上記①aの場合の国内派遣は、議員1人1年度につき1回以内とし、かつ、1回の派遣期間は2泊3日以内とする。

- ③ 旅費の支給額は、「青森県議会議員の議員報酬及び費用弁償の額並びにその支給条例」に基づき算定した額とする。

イ 議員派遣結果の報告及び公開

- (ア) 議員派遣を終了した議員は、議員派遣結果報告書を作成し、派遣終了後30日以内に議長に提出しなければならない。ただし、上記ア(イ)①bからgまでの議員派遣の場合を除く。

- (イ) 議長は、議員派遣の結果を本会議に報告することとする。

- (ウ) 提出された議員派遣結果報告書は、議会図書室に備え置き、閲覧に供するほか、任期中、議会ホームページに掲示することとする。

(8) 議会の傍聴

本会議を傍聴しようとする者は、傍聴券又は傍聴章の交付を受けなければならない。

一般傍聴者は、県議会受付で傍聴券の交付を受け、住所、氏名等を記入し、入場の際し、これを係員に提示すれば傍聴することができるが、危険のおそれのある物品を携帯する者、酒気を帯びている者及び拡声器、録音機、写真機の類を携帯している者等は傍聴席に入ることができない。

なお、一般傍聴席の定員は162人である。(うち車いす使用の定員は2人)

委員会を傍聴しようとする者は、議会事務局所定の場所で、傍聴券の交付を受けなければならない。一般傍聴者の手続き等は、本会議の場合と同様である。